とりしんぽう

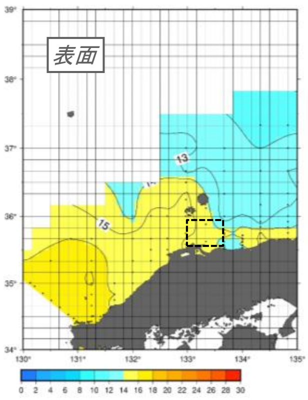
鳥取新報

第297号　令和8年5月版

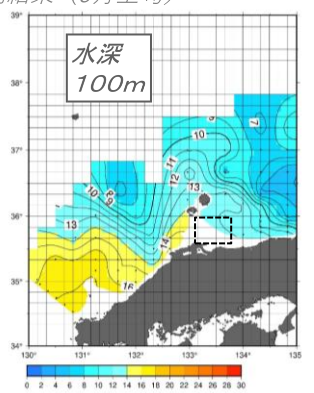
**掲載期間　R8.5月下旬
　　　　　　～R8.6月中旬**

発行　鳥取県水産試験場（電話:0859-45-4500）

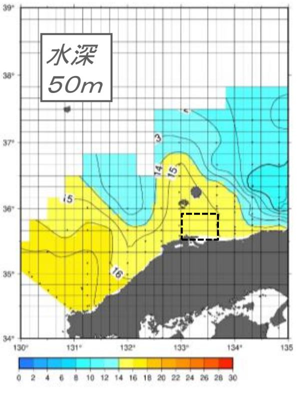
試験船による海洋観測結果（5月上旬）



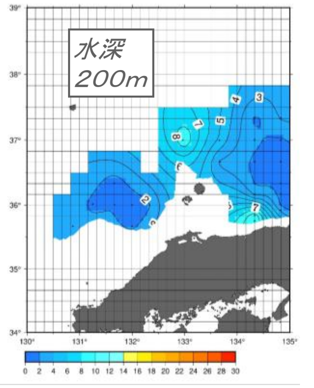
隠岐海峡と鳥取県沖（点線範囲内）の
平均水温は16.4℃ を示しています。
【前年差:+0.78℃、平年（直近30年）差: +0.86℃】



平均水温は12.6℃を示しています。
【前年差: －0.95℃、平年（直近30年）差: －0.73℃】



平均水温は15.2℃を示しています。
【前年差: +1.04℃、平年（直近30年）差: +0.66℃】



鳥取県東部沖に10℃以上を示す暖水域は確認されませんでした。

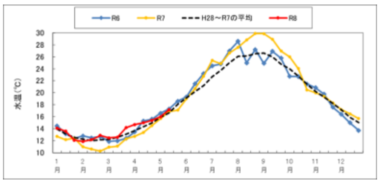
水産試験場

鳥取沿岸の水温

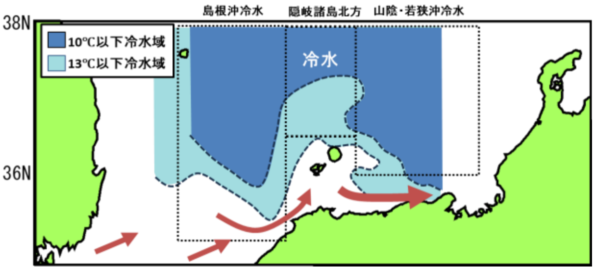
鳥取県栽培漁業センター　沈砂槽

（電話:0858-34-3321）

5月中旬　17.2 °C
平年より　0.5°C高め



5月上旬の水塊配置と対馬暖流



島根沖冷水域	10℃以下の冷水域はN35˚50’以北に認められ、平年（直近10年）並みでした。
隠岐諸島北方の冷水域	10℃以下の冷水域は、N37˚00’以北に認められました。
山陰・若狭沖冷水域	10℃以下の冷水域はN35˚50’以北に認められ、平年と比べ、はなはだ接岸傾向でした。
対馬暖流の流路	主流の一部が冷水域に沿い島根半島から鳥取県東部沖に向けて流れ、鳥取県沿岸では東方流が強まると考えられます。山陰・若狭沖冷水域の接岸に伴い、流路は平年よりも沿岸に近いと考えられます。

水産振興課

赤潮の発生について

毎年４月から６月にかけて、鳥取県沿岸では夜光虫（学名:ノクチルカ・シンチランス）が原因の赤潮が発生します。

夜光虫による赤潮は、海水を赤色に濁らせるのが特徴です。また、夜光虫は無毒種で基本的に魚介類への影響はありませんが、細胞密度が高くなると魚介類が呼吸障害を起こす可能性があります。

赤潮の発生や魚介類の斃死が確認された場合は、ご連絡いただくようお願いします。

【連絡先（水産振興課）】
電話:0857-26-7317　**（夜間・休日）公用携帯:**090-4895-9881
ファクシミリ:0857-26-8131

～熱中症に注意しましょう～

近年、温暖化の影響等により、県内でも熱中症による健康被害が多く報告されています。こまめに水分補給を行い、体調の変化に気を付けてください。

〇熱中症の初期症状（厚生労働省「熱中症予防のために」より）
めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のこむら返り　等

上記の初期症状が見られたら、作業を中断し、涼しい場所へ避難し、水分を取るなど、応急処置を行ってください。症状が改善されない場合は、医療機関を受診しましょう

水産試験場

令和7年度版海洋環境・水産資源レポートを作成しました

本県のまき網漁業（アジ、サバ、イワシ、マグロ等）、沖合底びき網漁業（ハタハタ、カレイ類、ズワイガニ等）、沿岸漁業（サワラ、キジハタ、アワビ、ナマコ等）などで漁獲される各魚種の漁獲状況や今後の資源動向、水温や潮流等の海洋環境について皆さんにより理解を深めて頂けるよう、水産試験場と栽培漁業センターで令和7年度版の海洋環境・水産資源レポートを作成しました。

令和7年度のトピックとして、栽培漁業センターからは「クロアワビの新たな資源管理の取組（個別漁獲割当の導入）について」、「スジアオノリ陸上養殖の取組について」、水産試験場からは「スルメイカ北上回遊群の漁場予測の試行」、「マアジ新規加入量調査における加入量指標値とまき網漁獲尾数との関係性の見直し」、を掲載し、直近の調査や報告も記載しております。

冊子は、各漁協・支所等に配布、水産試験場のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

【水試ホームページQRコード】

水産試験場ホームページURL（https://www.pref.tottori.lg.jp/101125.htm）

【表紙】

【漁獲評価一覧（2ページ目）】

栽培漁業センター

バイ資源を増やすため、産卵器を設置してください！

鳥取県沿岸の砂泥域に生息するバイは、かご網や小型底びき網で漁獲されます。特に３月～９月の漁獲が多く、令和２年に30トンを下回った漁獲量は、令和７年に４０トン近くまで増えていきました。徐々にではありますが、バイ資源が回復しているように思います。

栽培漁業センターでは、漁業者の方が産卵器設置による資源増殖に取り組めるよう、各漁協支所へ産卵器設置情報をFAXで提供しています。また、県HPでも公開しており、右のQRコードから確認することができます。

今年は6月１４日～１６日、６月２８日～７月１日に産卵が多いと予想されるため、６月１０日頃から産卵器の設置を開始してください。卵塊から孵化した幼生（バイの赤ちゃん）は数日で海底生活に移ると言われており、各地先の資源を増やすためには、各地先の漁業者の取り組みが重要となります。

産卵器に産み付けられた卵塊

産卵器設置情報（県HP）

令和８年４月から下記２社の広告を１年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本　　社　山口県下関市小月小島2**丁目**3-17　〒750-1136
電話 083-282-4041（**代表**）FAX 083-282-0424
境港営業所　鳥取県境港市栄町92**番地**1〒684-0006　**電話** 0859-44-0475　FAX 0859-42-6330